

さわらび

2018. 6. 18 No. 10 文責：大塚

廃品回収、おつかれさまでした

6/17(日)、今年度の保小中合同廃品回収を行いました。学校で仕分け・積み込みの作業をするメンバーは、朝、7時には全員が集まって、それぞれがアルミ缶の袋詰めや新聞紙等をトラックに積み込む作業に取りかかりました。また、保護者の皆様を中心に、各地区を軽トラック等で集めに回っていただきました。今年も生徒数減に伴う人手不足が大きな課題としてありましたが、わらたけノビノビ会会長から保護者OBの方々にも声をかけていただいたり、学校運営協議会の委員さんが手伝ってくださったりと、とてもスムーズに行えました。本当にありがとうございました。

今回の収益金は、

【合計】 83,765円
○アルミ缶 38,475円
○紙類 43,150円 ○ビール瓶 2,140円

でした。これと中学校前で回収しているアルミ缶の収入(4月分～8月分)を併せて、9月はじめに保小中それぞれのPTA会計に分けることになっています。各PTAでも有効に活用して、子どもたちの活動・PTAの活動に還元していただければと思います。



一緒に持久走！！

6/13(水)の午前中、大用中のみなさんが本校に来てくれて、合同で体カテストの持久走を行いました。前日放課後から男子みんなでグラウンドの整備をして(前日が検診の日で大型車の轍がありました)、朝から体育主任の有田先生がラインを引いて……走りたい気持ちになるようなきれいな200mトラックで迎えました。

全員でのアップをした後、女子全員がスタート、そして女子終了後に男子全員(航聖くんは少し体調が悪く応援でした)で走りました。

翌日の生活日誌には、「今日の体育の時間に大用中の人たちが来ていました。合宿のときに会った人たちもいて少しうれしかったです。」という感想もありました。



7月行事予定

- 1(日) 英語検定〔2次〕 PTA・教育行政研修会
- 2(月) 期末テスト(午飯課) SC 平和七夕祭り搬入
- 3(火) 期末テスト ノビノビ会意見交換会
- 4(水) 四万十の郷交流事前学習会 職員会
- 5(木) ALT
- 6(金) カヌー体験学習
- 9(月) 租税教室
- 10(火) 読み聞かせボランティア来校
- 11(水) 小学校へ読み聞かせ 四万十の郷交流会 校内研
- 12(木) ALT
- 14(土) 参観日・個人面談〔土曜授業〕
- 16(月) 海の日
- 17(火) 救命救急講習〔AED〕
- 18(水) SHL 職員会
- 19(木) 英語スピーチコンテスト ALT PTA役員会
- 20(金) 集会・終業式 あいさつ運動
- 24(火) 平和七夕祭り搬出
- 25(水) 四万十市人権教育研究大会
- 28(土) 竹屋敷地区交流事業〔土曜授業〕

※7/14参観日に予定していた「救命救急講習〔AEDを使って〕」は、講師の都合により、7/17(火)に行います。平日で仕事等もあることと思いますが、保護者の皆様・地域の皆様で講習を希望される方は、ぜひ藤岡中学校までご来校ください。

【日時】7/17(火) 10:45～

【会場】藤岡中学校

【内容】救命の初期対応、胸骨圧迫〔心臓マッサージ〕とAEDの使用方法についての実技

■連載・読み物シリーズ「郷土の偉人」(『高知の道徳』から)

保育の父 ～佐竹音次郎③～

このことがきっかけで、音次郎はけがや病気を治療するだけでなく、様々な事情から困って訪れてくる子どもたちを助けるようになった。

「すでに我が家に受け入れたからには、自分は彼らの父であり彼らは自分の子どもである。そうすると、彼らはもはや孤児ではない。立派ではないかもしれないが、自分という親ができています。彼らはもう孤児とは呼べない。」

当時、親が世話のできない子どもを預かる施設を、「孤児院」と呼んでいたが、音次郎は「孤児」としてではなく、家族の1人として預かり、我が子と分け隔てなく育てたいと考えていた。こうした考えから、音次郎は「保育」という言葉を使って、「小児保育院」を医院に併設した。現在、児童養護施設と呼ばれるものの礎である。(つづく)